

日本語コミュニケーションⅡ

科目ナンバリング JLN-102
必修 2単位

中沢 紀子

1. 授業の概要(ねらい)

前期と同様、日本語とはどのような特徴を持つ言語なのか、そしてその奥にあるコミュニケーションとは何なのかを考えていく。また、後期は私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。私たちはある特定の言葉を聞いただけで、その使用者の性別(男性か女性か)や出身地(関東出身か関西出身か)などがわかってしまうことがある(例:「あたし」「俺」「わし」)。私たちが使用している日本語は、地域差・世代差・性差など様々な社会的要素と大きく関係している。授業では、身近な日本語の諸問題を取り上げ、私たちを取り巻く社会と言葉の関係について観察していく。

2. 授業の到達目標

- ・日本語を客観的に考察し、説明することができる。
- ・日本語の一般的特徴を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

テスト(60%)・(授業等で実施する)課題(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

授業ではプリントを配布する。

5. 準備学修の内容

授業では、レポートを課すことがある。準備学修では、その際に必要な言語事例をそろえておくことが求められる。この事例採取については、授業時に指示する。

6. その他履修上の注意事項

授業内で感想・現在気になっている言葉などコメントを書いてもらうことがある。
また回によって、ペア・グループワークを行う。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス(前期の復習・「日本語を客観的に分析してみよう」) |
| 【第2回】 | 言葉の意味①(「語種」について学ぶ。) |
| 【第3回】 | 言葉の意味②(「語種・略語」について学ぶ。) |
| 【第4回】 | 言葉の意味③(「類義語」について学ぶ。) |
| 【第5回】 | 言葉の意味④(「類義語・反義語」について学ぶ。) |
| 【第6回】 | 言葉の意味⑤: (「辞書」について学ぶ。) |
| 【第7回】 | 言葉の意味⑥: (辞書を用いたグループ活動を行う。) |
| 【第8回】 | 言葉の意味⑦: (辞書を用いたグループ活動を行う。) |
| 【第9回】 | 日本語コミュニケーション①(コミュニケーションのくせ) |
| 【第10回】 | 日本語コミュニケーション②(コンテキスト) |
| 【第11回】 | 日本語の地域差①(方言について学ぶ。) |
| 【第12回】 | 日本語の地域差②(新方言について学ぶ。) |
| 【第13回】 | テストと解説 |
| 【第14回】 | 日本語コミュニケーション③(コミュニケーションの実践を行う。) |
| 【第15回】 | LMS授業: 到達目標の確認を行う(日本語話者が気づかない日本語)。 |